

浮世絵師

歌川国芳展

躍動する構図と写実力



《出品一覧》

会期：2020年8月1日（土）～9月27日（日）

【主催】パラミタミュージアム paramitamuseum

【後援】中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

※会場の都合により作品の一部に変更がある場合があります※

第1章 武者絵のはじまり・豪傑・合戦の図

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
1	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり きゅうもんりゅううしん ちょうかんごちんたつ 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 九紋龍史進 跳淵虎陳達	大判錦絵	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
2	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり かおしょうろちんしんしよめいろたつ 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 花和尚魯知深初名魯達	大判錦絵	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
3	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり こくせんふりきいめいりてつぎゅう 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 黒旋風李逵一名李鉄牛	大判錦絵	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
4	歌川国芳	すいこでんごうけつひやくはちにんのひとり せいかけんのさんぶしやう 水滸伝豪傑百八人之一个 清河景之産武松	大判錦絵	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
5	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり ろうりはくちやうじゆん 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 浪裡白跳張順	大判錦絵	文政11-12年(1828-29)頃	加賀屋吉右衛門
6	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり たんめいじろうげんしやうご 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 短莫次郎阮小吾	大判錦絵	文政11-12年(1828-29)頃	加賀屋吉右衛門
7	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり たんめいじろうげんしやうご 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 短命治郎阮小五	大判錦絵	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
8	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり せきはつきりゆうとう きよくきりんろしゆんぎ 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 赤髮鬼劉唐 玉麒麟盧俊義 ぼつしやらんぼくこう はくてんちやうりお 没遮欄穆弘 撲天鵬李応	大判錦絵三枚続	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
9	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり ちたせいごう 通俗水滸伝豪傑百八人之一个 智多星呉用	大判錦絵	文政10年(1827)頃	加賀屋吉右衛門
10	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのうち きれんじとこう 通俗水滸伝豪傑百八人之内 鬼臉兒杜興	中判錦絵	嘉永初期(1848-50)頃	山本平吉
11	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのうち ぼだいちゆうこだいそう 通俗水滸伝豪傑百八人之内 母大虫顧太嫂	中判錦絵	弘化3-嘉永元年(1846-1848)頃	山本平吉
12	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのうち はっかだようしゆん 通俗水滸伝豪傑百八人之内 白花蛇楊春	中判錦絵	弘化3-嘉永元年(1846-1848)頃	山本平吉
13	歌川国芳	つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのうち せんかじちゆうお 通俗水滸伝豪傑百八人之内 船火兒張横	中判錦絵	嘉永初期(1848-50)頃	山本平吉
14	歌川国芳	すいこでんごうけつひやくはちにん てんこうせいさんじゅうろくいん ちさつせいしちじゆうにいん 水滸伝豪傑百八人 天罡星三十六員 地殺星七十二員	大判錦絵十二枚連作	弘化元-4年(1844-47)頃	大黒屋平吉
15	歌川国芳	ほんちやうすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり てんかんいそびやうえ やしやあらし 本朝水滸伝豪傑八百人一个 天眼礮兵衛 夜叉嵐	大判錦絵	天保2年(1831)頃	加賀屋吉右衛門
16	歌川国芳	ほんちやうすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり おがたしゆうまひろゆき 本朝水滸伝豪傑八百人一个 尾形周馬寛行	大判錦絵	天保2年(1831)頃	加賀屋吉右衛門
17	歌川国芳	ほんちやうすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり かしてのはのし 本朝水滸伝剛勇八百人一个 膳臣巴提使	大判錦絵	天保元-3年(1830-32)頃	加賀屋吉右衛門
18	歌川国芳	ほんちやうすいこでんごうけつはつびやくにんのひとり かずさのすけひろつね 本朝水滸伝豪傑八百人一个 上総助廣常	大判錦絵	天保元-3年(1830-32)頃	加賀屋吉右衛門
19	歌川国芳	たいへいきえいゆうでん おりおもすけやすはる 太平記英勇傳 織尾茂助安春	大判錦絵	嘉永元年(1848)	版元未詳

第2章 ヒーローの妖怪退治・怨霊・幽霊

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
20	歌川国芳	ひぐちじろう 樋口治郎	大判錦絵	文政9-10年(1826-27)頃	蔦屋吉蔵
21	歌川国芳	はんのうえだんじやうのじやうあらかげ 半上弾正ノ忠新景	大判錦絵	天保(1830-44)頃	川口屋長蔵
22	歌川国芳	ぬのびきのたきあくげんたなんばをうつ 布引ノ瀧悪源太打難波	大判錦絵	天保3年(1832)頃	西村屋与八
23	歌川国芳	けたにむらろくすけ 毛谷村六助 カッパ退治	大判錦絵	天保(1830-44)頃	蔦屋吉蔵
24	歌川国芳	ふちべいがのかみおおとうのみやをうつ 淵部伊賀守討大塔宮	大判錦絵	制作年未詳	西村屋与八
25	歌川国芳	さかたかいどうまる 坂田怪童丸	大判錦絵	天保7年(1836)頃	加賀屋吉右衛門
26	歌川国芳	しじやうなわて なんげ えいゆうたいてききうけておおい 四條縄手にて桶家の英雄大敵を引請大に争戦して抜群の功名をあらはす乃図	大判錦絵六枚続	嘉永4年(1851)	相模屋藤吉
27	歌川国芳	かわなかじまひやくゆうしやうたたいのうち ゆうしやうながおえせんのかみまさかげ 川中島百勇将戦之内 勇将長尾越前守政景	大判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	上総屋岩蔵
28	歌川国芳	かわなかじまひやくゆうしやうたたいのうち たけだいなしろうかつより 川中島百勇将戦之内 武田伊奈四郎勝頼	大判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	上総屋岩蔵
29	歌川国芳	かわなかじまかつせん 川中島合戦	大判錦絵三枚続	天保-弘化期(1843-1847)頃	上州屋金蔵
30	歌川国芳	かわなかじまおおがつせん 川中島大合戦	大判錦絵三枚続	安政元年(1854)頃	山本平吉
31	歌川国芳	たけだしんげんすわよりしげのじんちゆうをうちくずす 武田信玄諏訪頼重の陣中を打くつす図	大判錦絵三枚続	制作年未詳	辻岡屋文助
32	歌川国芳	うえすぎだんじやうだいひつてるとらにゆうどうけんしん 上杉弾正大弼輝虎入道謙信	大判錦絵二枚続	天保-弘化期(1843-1847)頃	萬屋重兵衛
33	歌川国芳	しゆめのすけさかたのきんとき ゆげいのじやうすいさだみつ たきぐちのうどねりげんじつなとようかい 主馬佐酒田公時 朝原尉碓井貞光 瀧口内舎人源次綱と妖怪	大判錦絵三枚続	文久元年(1861)	山口屋藤兵衛
34	歌川国芳	おおえやましゆてんどうじ 大江山酒呑童子	大判錦絵三枚続	嘉永4年(1851)	天津
35	歌川国芳	そうま ふるだいら 相馬の古内裏	大判錦絵三枚続	弘化2-3年(1845-46)頃	八幡屋作次郎

36	歌川国芳	このえいん けちよう 近衛院に怪鳥あらわれる	大判錦絵三枚続	天保14年(1843)	山城屋新六
37	歌川国芳	げんざんみよりまさめえたいじのず 源三位頼政鶴退治の図	大判錦絵三枚続	文政9-10年(1826-27)頃	山本平吉
38	歌川国芳	さぬきのいんけんぞく ためとも 讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判錦絵三枚続	嘉永4年(1851)	住吉屋政五郎
39	歌川国芳	くりからだにがっせん 俱利伽羅谷合戦	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)頃	山口屋藤兵衛
40	歌川国芳	きよもりにゆうどうめのみぎのたきゆうらん あくげんたよしひらのれいなんばじろうをうつ 清盛入道布引滝遊覧 悪源太義平霊討難波次郎	大判錦絵三枚続	天保元年(1830)頃	伊勢屋三次郎か
41	歌川国芳	わしのおさぶらういちのたにひよどりごえのあんないやとなるず 鷺ノ尾三郎一の谷鶴越の案内者となる圖	大判錦絵三枚続	制作年未詳	丸屋清次郎
42	歌川国芳	だいもつこのうらへいけのぼうれい 大物の浦平家の亡霊	大判錦絵三枚続	嘉永2-4年(1849-51)頃	遠州屋彦兵衛
43	歌川国芳	ひやくにんいっしゅうのうちたいなごんつねのぶ 百人一首之内 大納言経信	大判錦絵	嘉永5年(1852)頃	工ヒ子
44	歌川国芳	ひやくにんいっしゅうのうちしゅとくいん 百人一首之内 崇徳院	大判錦絵	嘉永5年(1852)頃	工ヒ子
45	歌川国芳	おくらなぞらえひやくにんいっしゅう おおなかとみのよしこのぶのあそん かみやにえもん 小倉擬百人一首 大中臣能宣朝臣 神谷仁右工門	大判錦絵	天保(1830-44)頃	伊場屋仙三郎
46	歌川国芳	とうかいどうごじゅうさんついで くな ふなのりくごうのでん 東海道五十三對 桑名 船のり徳藏の傳	大判錦絵	弘化3年(1846)	小島屋重兵衛
47	歌川国芳	きそかいどうろくじゅうきゅうつぎのうち おいわけ おいわたくえつ 木曾街道六十九次之内 追分 おいわ宅悦	大判錦絵	嘉永5年(1852)	高田屋竹蔵
48	歌川国芳	きそかいどうろくじゅうきゅうつぎのうち ほそくて ほりこしだいらりょう 木曾街道六十九次之内 細久手 堀越大領	大判錦絵	嘉永5年(1852)	八幡屋作次郎
49	歌川国芳	きそかいどうろくじゅうきゅうつぎのうち うめま よえもん にょうぼうかさね 木曾街道六十九次之内 鶴沼 与右工門 女房累	大判錦絵	嘉永5年(1852)	上総屋岩蔵
50	歌川国芳	むかしばなしのたわむれ ねこまたとしをへてふるでらにかいをなすず 昔ばなしの戯 猫又年を遍古寺に怪をなす図	大判錦絵三枚続	弘化4年(1847)	若宇
51	歌川国芳	ひがしやまさくらぞうし おりこしだいらりょうまさとも(よだいめいばんどうひこさぶろう) 東山桜住子 織越大領政知(四代目坂東彦三郎)	大判錦絵三枚続	嘉永4年(1851)	版元未詳
52	歌川国芳	あさくらどうごぼうれい(よだいめいちかわこだんじ) おりこしだいらりょうまさとも 浅倉当吾亡霊(四代目市川小団次) 織越大領政知	大判錦絵二枚続	嘉永4年(1851)	住吉屋政五郎
53	歌川国芳	あさしがはらひとつやのず 浅茅原一ツ家の図	大判錦絵三枚続	安政2年(1855)	山口屋藤兵衛
54	歌川国芳	たけさわとうじ こまのぼけもの 竹沢藤次 独楽の化物	大判錦絵	弘化元年(1844)	具足屋喜兵衛
55	歌川国芳	きゅうびのきつね せっしゅうせき 九尾狐 殺生石	大判錦絵	制作年未詳	具足屋嘉兵衛

第3章 ダンディ 役者と伊達男

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
56	歌川国芳	きいちほうげんさんりやくのまき きいち(さんだいめいなかむらうたえもん) 鬼一法眼三略巻 鬼一(三代目中村歌右衛門)	大判錦絵二枚続	文化12年(1815)	山本平吉
57	歌川国芳	うしか(さんだいめいおのえいこう) 牛若(三代目尾上梅幸)	大判錦絵	嘉永元年(1848)頃	伊場屋仙三郎
58	歌川国芳	にだるまのいちじく 似達磨の一軸	大判錦絵	弘化元-2年(1844-45)頃	伊場屋久兵衛
59	歌川国芳	くによしもようしょうふだつきげんきんおとこ ばんずいちょうべえ 国芳もやう正札附現金男 幡随長兵衛	大判錦絵	弘化元-2年(1844-45)頃	伊場屋久兵衛
60	歌川国芳	くによしもようしょうふだつきげんきんおとこ だんしちくろくべえ 国芳模様正札附現金男 団七九郎兵衛	大判錦絵	弘化元-2年(1844-45)頃	伊場屋久兵衛
61	歌川国芳	くによしもようしょうふだつきげんきんおとこ ござくそめごろう 国芳模様正札附現金男 五尺染五郎	大判錦絵	弘化元-2年(1844-45)頃	伊場屋久兵衛
62	歌川国芳	くによしもようしょうふだつきげんきんおとこ てらにしかんしん 国芳模様正札附現金男 寺西関心	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)	三河屋喜兵衛
63	歌川国芳	ものがり ぁおやぎはるのすけ(しよだいばんどうしゅうか) ゆきおかふゆ しらぬひ譚 青柳春之助(初代坂東しゅうか) 雪岡冬次郎	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)	三河屋喜兵衛
64	歌川国芳	じろう(しよだいばんどうたけさぶろう) おおともぎょうぶむねつら(よだいめいばんどうひこさぶろう) (初代坂東竹三郎) 大友刑部宗連(四代目坂東彦三郎)	大判錦絵三枚続	天保2年(1831)頃	和泉屋市兵衛
65	歌川国芳	かげざわなつづじょう(ごだいめいちかわだんのすけ) 蔭沢夏之丞(五代目市川団之助)	大判錦絵三枚続	天保2年(1831)頃	和泉屋市兵衛
66	歌川国芳	およばもうでつながかおみせ はかまだれやすすけ(にだいめいなかむらしかん) ひらいやすまさ(に 鈍業綱顔鏡 袴垂保輔(二代目中村芝翫) 平井保昌(二代目 だいいめせきさんじゅうろう) かつらぎやまくものせい(にだいめいわいくめさぶろう) 関三十郎) 葛城山蜘蛛の精(二代目岩井兼三郎)	大判錦絵三枚続	天保2年(1831)頃	和泉屋市兵衛
67	歌川国芳	かなでほんちようちんぐら にだんめ ももいわかきのすけ(はちだいめいちかわだんじゅうろう) 仮名手本挑燈蔵 二段目 桃井若狭之助(八代目市川団十郎)	大判錦絵二枚	嘉永5年(1852)頃	三河屋喜兵衛
68	歌川国芳	さんだんめ おかる(しよだいばんどうしゅうか) 三段目 お軽(初代坂東しゅうか)	大判錦絵二枚	嘉永5年(1852)頃	三河屋喜兵衛

第4章 洒落とユーモア 擬人パロディ(猫・狐・狸など)

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
65	歌川国芳	みかけハこハみがとんだいゝ人だ	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	藤岡屋彦太郎
66	歌川国芳	ひと 人をばかにした人だ	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	大和屋久兵衛
67	歌川国芳	ひと 人かたまつて人になる	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	大和屋久兵衛
68	歌川国芳	としよ 年が寄っても若い人だ	大判錦絵	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	伊場屋仙三郎
69	歌川国芳	かいうんしゅつせがつたたいしちふくじん 開運出世合縁七福神	大判錦絵	天保14-弘化4年(1843-47)頃	藤岡屋彦太郎
70	歌川国芳	りょうめんそういきゅう 両面相 伊久 げどふ だるま とくさかり	大判錦絵	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	井筒屋
71	歌川国芳	ねこ あてじ 猫の当字 ふぐ	大判錦絵	天保末(1841-43)頃	伊場屋仙三郎

72	歌川国芳	はやりねこのたわむれ おしゆんでんべえ みのくささかりのいろどき 流行猫の戯 おしゆん伝兵衛 身の臭姪色時	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	山本平吉
73	歌川国芳	どうげけんあわせ 道化拳合	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	伊場屋仙三郎
74	歌川国芳	がまでほん 蝦蟇手本 ひやうきんぐら	大判錦絵(中判二丁掛)	嘉永5年(1852)頃	大和屋久兵衛
75	歌川国芳	あたるほうのうねがいおがくめん 当ル奉納願お賀久面	大判錦絵三枚続	嘉永元年(1848)頃	中仁
76	歌川国芳	にたからぐらかへのむだかき 荷宝蔵壁のむだ書	大判錦絵三枚続	弘化4年(1847)頃	伊場屋仙三郎
77	歌川国芳	ひやくいろめんそう 百色面相(あくび ほか)	大判錦絵	天保中期(1835-39)頃	伊勢屋三次郎
78	歌川国芳	狸のうりすへ／狸の引ふね	大判錦絵(中判二丁掛)	天保14-弘化元年(1843-44)頃	上総屋岩蔵
79	歌川国芳	てんぐ じびき 天狗のまね／地引だぬき	大判錦絵(中判二丁掛)	天保14-弘化元年(1843-44)頃	上総屋岩蔵
80	歌川国芳	狸のうらない／狸のかんばん	大判錦絵(中判二丁掛)	天保14-弘化元年(1843-44)頃	上総屋岩蔵
81	歌川国芳	あきひなこびとしまあそび 朝比奈小人鳴遊	大判錦絵三枚続	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	彫正
82	歌川国芳	にんぎょうみたて しんじゆぶつ 人形見立 神儒佛	大判錦絵二枚続	安政3年(1856)頃	大黒屋金之助
83	歌川国芳	いなんびょうりょうじ きたいなめい医難病療治	大判錦絵三枚続	嘉永2年(1849)頃	遠州屋彦兵衛
84	歌川国芳	めいよみぎにてきなしひだりじんごろう 名誉右に無敵左り甚五郎	大判錦絵三枚続	嘉永初期(1848-50)頃	恵比寿屋庄七
85	歌川国芳	ときにおうつえきだいのまれもの 流行逢都絵希代稀物	大判錦絵三枚続	嘉永5年(1852)頃	湊屋小兵衛
86	歌川国芳	うきよまたへいめいがのきどく 浮世又平名画奇特	大判錦絵二枚続	嘉永6年(1853)頃	越村屋平助
87	歌川国芳	しんがくおきなえとき おにのねんぶつ まことうそ だいこくとふくろくじゆのすもう いろとよく 心学稚画得 鬼の念仏 誠と嘘 大黒と福祿寿の相撲 色と欲	中短冊錦絵四枚	天保末(1841-43)頃	若狭屋与市

第5章 粋のファッション・鉄火肌の女たち

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
88	歌川国芳	おうみのおかね 近江之金女	大判錦絵	文政10年(1827)頃	川口屋右兵衛
89	歌川国芳	けんじよれつぶでん おおいこ 賢女烈婦傳 大井児	大判錦絵	天保末(1841-43)頃	伊場屋仙三郎
90	歌川国芳	ほんちようにじゆしこう やまとのくに たけのうちむらいまじよ 本朝廿四孝 大和国竹の内村今女	中判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	村鉄
91	歌川国芳	じっけんおんなおうぎ きおんのかじ 十賢女扇 祇園梶	中判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	藤岡屋慶次郎
92	歌川国芳	じっけんおんなおうぎ えぐちのたまえ 十賢女扇 江口玉江	中判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	藤岡屋慶次郎
93	歌川国芳	さんかいめいさんづくし とうだいいちすみだがわのしらうお 山海名産盡 東都第一角田川の白魚	大判錦絵	文政末(1828-1830)頃	新伊勢屋小兵衛
94	歌川国芳	さんかいめいさんづくし きしゆくじら 山海名産尽 紀州鯨	大判錦絵	文政末(1828-1830)頃	新伊勢屋小兵衛
95	歌川国芳	だいがんじようじゆありがたきしま 大願成就有ヶ瀧縞	大判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	伊場屋仙三郎
96	歌川国芳	しまぞろいおんなべんけい ほうしてい 縞揃女弁慶 宝市亭	大判錦絵	弘化元-4年(1844-47)頃	伊場屋久兵衛
97	歌川国芳	さんかいめでたいずえ 山海愛度図会 えりをぬきたい	大判錦絵	嘉永5年(1852)	佐野屋喜兵衛
98	歌川国芳	さんかいめでたいずえ 山海愛度図会 はやく酔いをさましたい	大判錦絵	嘉永5年(1852)	山口屋藤兵衛
99	歌川国芳	さんかいめでたいずえ なお 山海目出たい図会 くせが直したい	大判錦絵	嘉永5年(1852)	鳶屋吉蔵
100	歌川国芳	すみだがわはなびのうりょうのず 隅田川花火納涼の図	大判錦絵三枚続	嘉永中期(1850-51)頃	辻岡屋文助
101	歌川国芳	りょうごくたいきよくぼのにぎわい 両ごく大曲馬の賑い	大判錦絵三枚続	嘉永元-4年(1848-51)頃	住吉屋政五郎
102	歌川国芳	しよちゆう ゆうだち 暑中の夕立	大判錦絵三枚続	嘉永(1848-54)頃	林屋庄五郎
103	歌川国芳	はちちようづつみよるのけい 八町つづみ夜のけい	大判錦絵三枚続	弘化元-4年(1844-47)頃	人形屋多吉
104	歌川国芳	とうせいふうぞくこう 当盛風俗好	大判錦絵三枚続	天保3年(1832)頃	井筒屋庄吉
105	歌川国芳	よ うめ つもる夜の梅	大判錦絵三枚続	嘉永元-5年(1848-52)頃	藤岡屋慶次郎
106	歌川国芳	はしま 橋間のすずみふね	大判錦絵三枚続	弘化元-4年(1844-47)頃	若宇

第6章 洋風実験二十四孝・洋風表現の風景画

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
107	歌川国芳	にじゅうしこうどうじかがみ かくきよ 二十四孝童子鑑 郭巨	大判錦絵	天保14-弘化元年(1843-44)頃	若狭屋与市
108	歌川国芳	にじゅうしこうどうじかがみ そうしん 二十四孝童子鑑 曾参	大判錦絵	天保14-弘化元年(1843-44)頃	若狭屋与市
109	歌川国芳	にじゅうしこうどうじかがみ たいしゆん 二十四孝童子鑑 大舜	大判錦絵	天保14-弘化元年(1843-44)頃	若狭屋与市
110	歌川国芳	にじゅうしこうどうじかがみ とうふじん 二十四孝童子鑑 唐夫人	大判錦絵	天保14-弘化元年(1843-44)頃	若狭屋与市
111	歌川国芳	とうどにじゅうしこう たいしゆん ゆきんろう 唐土廿四孝 大舜 虞黔婁	中判錦絵二枚	嘉永(1848-54)頃	版元未詳
112	歌川国芳	とうどにじゅうしこう ごもう びんしけん 唐土廿四孝 呉猛 閔子騫	中判錦絵二枚	嘉永(1848-54)頃	版元未詳
113	歌川国芳	とうどめいしよ 東都名所 するがだひ	大判錦絵	天保初期(1831-33)頃	加賀屋吉右衛門

114	歌川国芳	とうとめいしよ つくだじま 東都名所 佃嶋	大判錦絵	天保初期(1831-33)頃	加賀屋吉右衛門
115	歌川国芳	とうとはしはのず 東都橋場の図	大判錦絵	天保初期(1831-33)頃	山口屋藤兵衛
116	歌川国芳	とうとみつまたのず 東都三ツ股の図	大判錦絵	天保初期(1831-33)頃	山口屋藤兵衛
117	歌川国芳	とうかいどうごじゆうさんえきよしゆくめいしよ 東海道五拾三駅四宿名所 程ヶ谷から平塚まで ほどがや、とつか、ふじさわ、ひらつか (程ヶ谷、戸塚、藤沢、平塚)	大判錦絵	天保5-6年(1834-35)頃	鶴屋喜右衛門・ 蔦屋吉蔵
118	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所 大磯から沼津まで おおいそ、おだわら、はこね、みしま、ぬまづ (大磯、小田原、箱根、三島、沼津)	大判錦絵	天保5-6年(1834-35)頃	鶴屋喜右衛門・ 蔦屋吉蔵
119	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所 赤坂から鳴海まで あかさか、ふじかわ、おかさぎ、ちりゅう、なるみ (赤坂、藤川、岡崎、池鯉鮒、鳴海)	大判錦絵	天保5-6年(1834-35)頃	鶴屋喜右衛門・ 蔦屋吉蔵
120	歌川国芳	東海道五拾三駅四宿名所 宮から石薬師まで みや、くわな、よっかいち、いしやくし (宮、桑名、四日市、石薬師)	大判錦絵	天保5-6年(1834-35)頃	鶴屋喜右衛門・ 蔦屋吉蔵
121	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所 水口から京都まで みなくち、いしべ、くさつ、おおつ、きょうと (水口、石部、草津、大津、京都)	大判錦絵	天保5-6年(1834-35)頃	鶴屋喜右衛門・ 蔦屋吉蔵
122	歌川国芳	よこはまほんちようのず 横浜本町の図	大判錦絵三枚続	万延元年(1860)	和泉屋市兵衛

第7章 歴史物語と忠臣蔵など

No.	絵師名	作品名	判型・形態	年代	版元
123	歌川国芳	こうそごいちだいりやくず さしゆうつかはらせつちゆう 高祖御一代略図 佐州塚原雪中	大判錦絵	天保7年(1836)頃	伊勢屋利兵衛
124	歌川国芳	こうそごいちだいりやくず ぶんえいじゆういち ごがつにじゅうはちにちこむろやまほうろんせき 高祖御一代略図 文永十一 五月廿八日小室山法論石	大判錦絵	天保7年(1836)頃	伊勢屋利兵衛
125	歌川国芳	さんごくようこすえ かようふじんさいきがまなこをいてはんぞくおうをなぐさむ 三国妖狐図会 華陽夫人采姫が眼を射て斑足王をなぐさむ	大判錦絵	嘉永(1848-54)頃	伊勢屋忠助
126	歌川国芳	さんごくようこすえ かようふじんろうこのほんぎょうをあらわしとうてんとびさる 三国妖狐図会 華陽夫人老狐の本形を顕し東天に飛去る	大判錦絵	嘉永2年(1849)	越前屋八右衛門
127	歌川国芳	さんごくようこすえ なんてんじくのこくおうはんぞくたいしかりき 三国妖狐図会 南天竺乃国王斑足太子怪力	大判錦絵	嘉永(1848-54)頃	伊勢屋忠助
128	歌川国芳	しもつけのくになすのはらきんもうはくめんきゆうひのあくこたいじのず 下野之国奈須の原金毛白面九尾の悪狐たいじの図	大判錦絵三枚続	天保前期(1830-37)	竹内孫八
129	歌川国芳	かんしんまたぐりのず 韓信勝潜之図	大判錦絵三枚続	天保中期(1835-39)頃	佐野屋喜兵衛
130	歌川国芳	つうぞくさんごくしのうち りょうふをおうとしてとうたていてじようにまるぶ 通俗三国志之内 呂布追董卓庭上転	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)頃	蔦屋吉蔵
131	歌川国芳	つうぞくさんごくしのうち げんとくみたびせつちゆうにこうめいをとうのず 通俗三国志之内 玄德三雪中孔明訪図	大判錦絵三枚続	嘉永6年(1853)頃	蔦屋吉蔵
132	歌川国芳	さんごくしちようはんきようのず 三国志長坂橋図	大判錦絵三枚続	嘉永5年(1852)頃	蔦屋吉蔵
133	歌川国芳	へいしよくくにゆうどう 平相國入道	大判錦絵三枚続	天保13年(1842)頃	辻屋安兵衛
134	歌川国芳	ごうけつはつけい ひようごゆうしろう 豪傑八野 兵庫夕照	大判錦絵	嘉永元-5年(1848-52)頃	辻川
135	歌川国芳	すまでらおうかさつまつのかみただのりえいかのず 須磨寺桜下薩摩守忠度詠歌の図	大判錦絵三枚続	弘化元-4年(1844-47)頃	山口屋藤兵衛
136	歌川国芳	はつけんでんのうち ほうりゆうかく 八犬伝之内芳流閣	大判錦絵三枚続	天保11年(1840)	和泉屋市兵衛
137	歌川国芳	きよくていおうせいよはつけんしずいし 曲亭翁精著八犬士随一	大判錦絵	天保7年(1836)	西村屋与八
138	歌川国芳	やしまだいかつせん よしつねゆみながしのず 八島大合戦 義経弓流之圖	大判錦絵六枚続の内三枚	制作年未詳	林屋庄五郎
139	歌川国芳	ながとのくにあかまのうらにおいてげんべいおおがつせんへいけいちもんことごとくほろびるず 長門國赤間の浦に於て源平大合戦平家一門悉く亡びる圖	大判錦絵三枚続	嘉永5年(1852)頃	遠州屋又兵衛
140	歌川国芳	ちゆうしんぐら 忠臣蔵	大判錦絵三枚続	制作年未詳	伊勢屋忠助
141	歌川国芳	ちゆうしんぐらじゆういちだんめりゆうごくばせいぞろいず 忠臣蔵十一段目両国橋勢揃図	大判錦絵三枚続	嘉永5年(1852)	加賀屋吉右衛門
142	歌川国芳	せいちゆうぎししやうぞう おおぼしゆらのすけよしとか 誠忠義士肖像 大星由良之助良雄	大判錦絵	嘉永5年(1852)	住吉屋政五郎
143	歌川国芳	せいちゆうぎししやうぞう やだごろうざえもんすけたけ 誠忠義士肖像 箭田五郎左工門助武	大判錦絵	嘉永5年(1852)	住吉屋政五郎
144	歌川国芳	せいちゆうぎししやうぞう やとうもしちのりかね 誠忠義士肖像 矢頭與茂七教兼	大判錦絵	嘉永5年(1852)	住吉屋政五郎
145	歌川国芳	せいちゆうぎししやうぞう なかむらかんすけまさとき 誠忠義士肖像 中村勘助正辰	大判錦絵	嘉永5年(1852)	住吉屋政五郎
146	歌川国芳	せいちゆうぎしでん とみもりすけえもんまさより 誠忠義士伝 富守祐右衛門正固	大判錦絵	弘化4年(1847)	海老屋林之助
147	歌川国芳	せいちゆうぎしでん おりべやすべえたけつね 誠忠義士伝 織部易兵衛武庸	大判錦絵	弘化4年(1847)	海老屋林之助
148	歌川国芳	せいちゆうぎしんめいめいかがみ はやみそざえもんみつたか 誠忠義臣名々鏡 早水総左衛門満莞	大判錦絵	安政4年(1857)	堀越
149	歌川国芳	せいちゆうぎしんめいめいかがみ はやのかんべいつねよ 誠忠義臣名々鏡 早野勘平常世	大判錦絵	安政4年(1857)	堀越
150	歌川国芳	ふみよむおんな 文を読む女	紙本着色・軸装	嘉永(1848-54)頃	内寸) 149.0×65.5
151	歌川国芳	ほととぎすをみるゆうじよ 時鳥を見る遊女	紙本着色・額装	嘉永(1848-54)頃	内寸) 119.0×29.0
152	歌川芳幾	うたがわよいくが うたがわくによしついでん 歌川芳幾画 歌川国芳追善絵	大判錦絵	文久元年(1861)	広岡屋幸助